

豆田町並み通信

第89号

発行者
豆田町伝
建保存会
02年3月

天領お雛まつり・子供の成長願って「流し雛」

三月一日（日）、桂林荘公園で開催された「流し雛」行事は、雨天にも拘らず約三〇〇名が参加して行われました。

遠くは東京からの家族連れや、また車で岡山からの観光客も参加し、「子供が月曜日は休校なのでもう一泊して帰ります」と話していました。

今年の紙雛には「家族が健康であります様に」とか「サッカーが上手くなります様に」など願いが書かれているなかで、「コロナウイルス騒動が早く

終わります様に」と今年ならではの願いが書かれた紙雛もありました。



紙雛に願い事を書く参加者の皆さん

城内川に設置された特設舞台から、願いを書いた「紙雛」を流す子供達

日田市審議会並びに 保存審議会開催

令和元年度第一回町並み保存審議会が、二月十九日（水）市役所別館会議室で開催されました。

会議では、令和二年度以降の伝建修理補助事業について、水田洋家の主屋の二年目、城町の石井洋子家の主屋とする事が承認されました。

審議の中で、石井洋子家は咸宜園創立以前の日田地方における代表的な寺子屋であり、盛期の姿に復原する事が可能である事が報告されました。

なお、石井家は洪水被害に何度も遭っており、防水対策にも留意する様との意見が出されました。

又、令和二年度の防災事業として、屋外消火栓を三基設置することも併せて承認されました。



次年度以降の修理事業について協議した町並み保存審議会

文化財防火デー 防火訓練行なわれる！

一月二十六日（日）、第六十六回文化財防火デーに併せて、豆田で防火訓練が行なわれ、豆伝会会員や日田消防署職員など約四〇名が参加しました。

まず日田消防署職員の指導を受けて交流館裏の広場にて、屋外消火栓を使った放水訓練を行いました。

その後、室内にてAEDや人体模型を使った救急救命の講習が行われました。



日田消防署の指導を受け、放水訓練を行なう住民の皆さん

人体模型を使って人工マッサージの訓練を行う参加者



クンチヨウ酒造で蔵開き！

二月十一日（火）、豆田の「ひなまつり」のイベントとして、「クンチヨウ酒造・蔵開き」が行われました。

この日、地元住民や清酒ファンの観光客は、千円で吟醸酒や純米酒が飲めるチケットを購入したり、酒粕詰め放題のイベントに参加したり、天ヶ瀬温泉の足湯を堪能していました。



「彩の会」の皆さんによる「日田の酒づくり」歌の披露



オープンイベントで行われた岳滅鬼太鼓の演奏

第二回地区会通常総会開催

二月二十八日（金）歴史交流館の離れ座敷において、豆田第一自治会と豆田第二自治会とで組織する「豆田地区会」の第二回総会が開催されました。

総会では、昨年十月末に完成した山鉾収納庫（現在外構部分が工事中）について建設委員会での経過報告と四千万円を超える収支計算書が報告されました。

次に、令和二年度より収納庫の本格的な使用が始まる事から、雨水期の対応や祇園祭以外の展示方法について議論を重ねました。

収納庫の活用で、祇園祭の継承・発展が進む事が期待されています。



山鉾収納庫の管理方法を議論した住民の皆さん

初午祭典行なわれる！

二月九日（日）に豆田廣瀬本家所有の源兵衛稲荷と三本松の稲荷様で、それぞれ初午祭が行なわれました。

三本松の稲荷様では、参拝者にお米や酒が当たる福引きが行なわれ、特賞などが当たると歓声が起こっていました。



大原雅楽会の笛に合わせてお参りする豆田の皆さん



三本松での福引きの様子

また、二月二十九日には中城町でも初午祭が行われ、お参りが行われました。



ポケットパーク整備進む！



トイレと広場の整備が進む豆田上町の小公園整備事業

計報



廣瀬貞雄氏（87）
豆伝会元会長

三月二日予定のお別れの会は、コロナウイルスの影響を考慮して延期されます。